女川原子力発電所3号機 第5回定期検査の状況 (平成21年4月分)

1. 定期検査の進捗状況

女川原子力発電所3号機は、平成20年11月26日より第5回定期検査を実施しております。

これまでに燃料装荷が完了し、今後、原子炉を復旧する予定です。

(添付-1 女川原子力発電所3号機 第5回定期検査 主要点検工程表 参照)

2 . 主要機器の点検状況

主な機器の点検状況は以下のとおりです。

(1)燃料の取替え

560体ある燃料集合体のうち、108体を新燃料に取替えました。

(2)配管減肉に係る検査

原子炉系およびタービン系の配管約1,800箇所について肉厚測定検査を実施しております。

(3)耐震裕度向上工事

更なる耐震安全性の向上を図るため、自主的に設備の耐震裕度向上工事を実施しております。

3.トラブルに該当しないひび、傷等の状況について

- (1) 平成21年4月の主要機器の点検状況は、添付-2のとおりです。
- (2) 既報告の主要機器の点検で、4月中に補修等の作業が終了したものは下表のとおりです。

(詳細については、添付-3参照)

報告時期、報告 No .	件 名	作業終了日	備考
平成 2 1年 3 月分 N o . 1 (改)	原子炉補機冷却系熱交換器伝 熱管の減肉について	4月10日	添付 - 3

以上

女川原子力発電所3号機 主要機器点検情報(平成21年4月)

設備名	設備 区分	実施内容	検査 区分	概 要
原子炉補機冷却海水系		-	-	・ 当社東通原子力発電所 1 号機の原子炉補機冷却海水ポンプ (以下、「当該ポンプ」という。)において、発電所の外部 電源および所内電源の喪失時に起動する非常用ディーゼル 発電機による電源が万一喪失した場合、当該ポンプの操作 スイッチを一度停止位置にすると、電源復旧後に起動位置 にしてもポンプが起動できない電気回路の構成となっていたことから、女川原子力発電所 3 号機についても調査した ところ、同様の回路構成となっており補修の必要な箇所があることがわかったため、補修を実施しました。 ・ 本事象は非常用ディーゼル発電機による電源が喪失後の復 旧過程においてはじめて顕在化されるものであり、通常運 転時や通常想定される外部電源および所内電源の喪失時に おける当該ポンプの起動に影響を与えるものではありません。 (詳細については、個別情報No.1参照)
換気空調補機非常用冷却水系		-	-	 ・ 中央制御室において、地絡を示す警報が発生したため、換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(C)(以下、「当該冷凍機」という。)に設置されている潤滑油ヒータ4台を調査したところ、1台が地絡していることがわかりました。 ・ 地絡した潤滑油ヒータ1台について取替えを行い、異常がないことを確認しました。 ・ なお、他の潤滑油ヒータ3台が正常であったため、当該冷凍機の機能および性能に影響はありませんでした。 (詳細については、個別情報No.2参照)
高圧炉心スプ レイ系		-	-	・ 高圧炉心スプレイ系ポンプ吸込ラインドレン弁(以下、「当該弁」という。)のシート部から下流側配管を通じて排水受け皿へ水が僅かにしみ出していることを発見しました。 ・ 当該弁について、本定期検査中に分解点検を実施します。 ・ 当該弁からのしみ出しは僅かであることから、高圧炉心スプレイ系の機能に影響を与えるものではありません。 (詳細については、個別情報No.3参照)

【設備区分】 : 安全上重要な系統(原子炉圧力バウンダリ、原子炉本体、非常用炉心冷却系等)

: それ以外の系統

【検査区分】定:法令に基づき国または独立行政法人 原子力安全基盤機構が実施する定期検査

事:法令に基づき当社が実施する定期事業者検査

点:保守管理に基づく点検・補修等

<u>No.1</u>			(平成21年4月分)
号 機	3 号機	定期検査	第5回定期検査
件 名	原子炉補機冷却海水ポンプ起	己動用電気回路の補	修箇所の発見について
月 日	平成21年3月30日(火)		発生発見確認
場所	原子炉建屋 設 備	原子炉補機冷却 海水系	設備区分 安全上重要な設備
設備概要	原子炉補機冷却海水系は、原 により熱交換して冷却する系統		ノプ・モーターなどの冷却水を海水
所 見	という。)において、発電所のディーゼル発電機による電流 一度停止位置にすると、電流 気回路の構成となっていた。 たところ、同様の回路構成 日にわかったため、補修を発 ・ 本事象は非常用ディーゼル めて顕在化されるものであ	の外部電源および所原が万一喪失した場原後旧後に起動位置ことから、女川原子となっており補修の実施しました(4月発電機による電源り、通常運転時や過	即海水ポンプ(以下、「当該ポンプ」 所内電源の喪失時に起動する非常用場合、当該ポンプの操作スイッチを置にしてもポンプが起動できない電子力発電所3号機についても調査しの必要な箇所があることが3月30月9日、18日。 原が喪失後の復旧過程においてはじ通常想定される外部電源および所内響を与えるものではありません。
	原子炉補機 冷却水ポンプ 原子 温	京子炉建屋内 対点を換器等 か 海へ が 神機冷却水系 熱交換器 ・ 海水 は (C) 海水 は (M) は (放射能を含まない) は (放射能を含まない)	原子炉補機冷却海水ポンプの起動用電気回路に補修の必要がある箇所を発見

原子炉補機冷却海水系(A)系 系統概略図 (B系の系統構成はA系と同一)

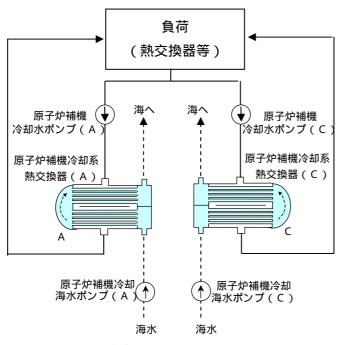
No.2 (平成21年4月分)

110.2			(+m2++7)
号 機	3 号機	定期検査	第5回定期検査
件 名	換気空調補機非常用冷却水源	系冷凍機(C)淵	閏滑油ヒータの地絡について
月 日	平成21年4月8日(水)		発生発見確認
場所	原子炉建屋 設 備	換気空調補機: 用冷却水系	非常 設備区分 安全上重要な設備
設備概要	換気空調補機非常用冷却水 給するための系統です(当該系		系の非常用給気冷却コイルへ冷水を供 物質を含まない系統)。
所 見	水系冷凍機(C)(以下、「 タ4台を調査したところ、 ・地絡した潤滑油ヒータ1台 た(4月9日)。	「当該冷凍機」と 1台が地絡して はについて取替え 台が正常であっ	生したため、換気空調補機非常用冷却にいう。)に設置されている潤滑油ヒーいることがわかりました(4月8日)。を行い、異常がないことを確認しましたため、当該冷凍機の機能および性能
: 冷水の? 一 : 冷水の? 中央制御室 給気冷却コイル ニ	換気空調補機 非常用冷却水系 冷水ポンプ(C	→ ・凝縮器 ・ 沿 ・蒸発器 ・ 沿 ・ 温 ・ 温 ・ 温 ・ 温 ・ ア	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	系統概略図	地絡していた ヒータ	潤滑油ヒータ潤滑油ヒータ潤滑油タンク潤滑油タンク概略図

No.3 (平成21年4月分)

(10.5)					
号 機	3 号機	定期検査	第 5 回	定期検査	
件 名	高圧炉心スプレイ系弁から下流側配管へのしみ出しについて				
月 日	平成21年4月22日(水)		発 生 発	見確認	
場所	原子炉建屋 設 備	高圧炉心スプレイ	系 設備区分	安全上重要な 系統	
設備概要	高圧炉心スプレイ系は、非常材喪失事故時に高圧力で冷却が 系統です。				
所 見	・ 高圧炉心スプレイ系ポンプロシート部から下流側配管をを発見しました(4月22 ・ 当該弁について、本定期検証を与えるものではありません	通じて排水受け 日)。 査中に分解点検を かであることから	皿へ水が僅かにし E実施します。	しみ出していること	
を与えるものではありません。 原子炉圧力容器 原子炉格納容器 「圧力抑制室 当該弁 当該弁 」 ・全開 ・・全開 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					

No.1(改) (平成21年3月分)



原子炉補機冷却系熱交換器諸元			
本体	長さ	約9 m	
	外径	約1.8m	
	材質	炭素鋼	
伝熱管	長さ	約6 m	
	太さ	約25mm	
	材質	アルミ黄銅管	
	本数	1948本	

原子炉補機冷却系(A)系 系統概略図

(B系の系統構成はA系と同一)

-----: :淡水(放射能を含まない) ----::海水(放射能を含まない)